

♫ 木の芽だ 桜だ 丘の上～の園歌より…

丘のうえ

第137号

令和3年 6月 8日発行

発行・編集／東遠学園組合

URL: <http://toengakuen.jp/>

[児童部] 20名、短期入所5名 [青年部] 10名、短期入所7名、生活介護20名
[東遠地区生活支援センター] 78名(放課後デイサービス・レスパイト・ホームヘルプ)
[こども発達センターめばえ] 48名(毎日通園:知的22名・重心10名、並行通園:8名、親子通園8名)
[こども発達センターみなみめばえ] 48名(毎日通園:知的24名・重心8名、並行通園:8名、親子通園8名)
[こども発達センターきためばえ] 16名(毎日通園:知的)
【人数は定員:令和3年4月1日現在 (東遠地区生活支援センターは登録者数)】



四月七日にきためばえの『開所式及び入園式』が行われました。三人の新しい友達を迎え、在園児と併せて一五人での新たなスタートとなりました。

式典は、除幕式から始まりました。来賓の皆さんのお力を借りながら、リボンをみんなで引つ張ると:『きためばえ』の看板が目見え!参加した保護者や来賓の方から暖かい拍手と共に歓声が上がりました。看板は内覧会の際に、園児親子と一緒に文字や絵を布に描き、作成したものです。

また、卒園児保護者から「元氣な子どもの姿・母親の願い・職員への感謝」をテーマとした三つの素敵なリースを頂きました。看板とリースは玄関に飾り、毎日元気に通ってくる子ども達を華やかに迎え入れてくれます。

開所から二ヶ月が経ち、子ども達の明るい声が東遠の丘に加わり、一層賑やかになりました。今後は、東遠学園組合の様々な事業所との交流も深め、年齢の幅を超えた関わりを深めていきたいと思えます。

令和三年度のスタートにあたって

令和二年十一月、組合創立五十年の記念式典を行いました。

コロナ禍の中、予定よりずっと縮小されましたが、東遠学園を支えてくださっている方々に感謝状をお渡しし、記念誌の中でこれまでの歩みを振り返り、この五十年があつての「今」を噛みしめることが出来たひと時でした。そしてこの五月に東遠学園が子ども達と歩み始めて五十年目の歩みを刻み始めました。

開園当時、障害を持った方達とその家族の、まさに「この子らを世の光に」(糸賀一雄氏の言葉)という気持ちで込められての出発だったと思います。

東遠学園を利用される方達の

ニーズは時代と共に変化してきます。しかし、利用される一人

ひとりが望む声に耳を傾け、「一人ひとりが生活の主人公として輝けるために」力を尽くす事は、私達の支援の根底に生き続けていますし、これから何年たっても引き継いでいくべき理念だと思っています。皆さんの目で、これからも厳しくこの理念が全うされているか見守ってください。

さて、昨年度この東遠学園組合を利用された方は、概算で乳幼児二百三十名、学齢児三百六十名、十八歳以上の方三百十名となっています。

東遠学園組合は障がいを持つ方たちのための施設です。私達

が支援にあたることの多い知的障がいは、ご本人のペースで様々な力をつけていく方達であり、病気とは違い「治る」「治らない」という概念はありません。

知的面でゆっくり発達していく方達です。近年よく聞かれる発達障がいは、いわゆる「多くの人達」とは違う感覚を持っていることが多く、「多くの人達」の生きやすさで作られている社会の中で生活のしづらさを感じる場面が多くあります。同じ障がいを持っていても、環境や周りの方たちの理解や協力によって、支援の必要度合いが変わってきます。

五十年という一区切りで、気持ち新たに知的障がいや発達障がい等、私達がかかわる方達のことを、多くの人達に伝えていき、この地域で暮らす方達に「みんなまで支えていくから大丈夫」と言ってもらえる、そんな地域

の実現に力を入れていきたいと思っております。

そしてなんとといっても、この五十年、温かく支えてくださっている、菊川市西方地区の皆さん。特にこの地で生活をしている青年部の方達、児童部の子ども達は、地域の学校に通い、散歩に出かけ毎日を過ごしています。時には大変ご迷惑をおかけしたこともありますが、温かいお言葉をいただいたことは数知れません。これから始まる一年も地域の一員としてたくさん声をかけていただき、東遠学園を支えていただきたく、よろしく願います。

コロナが一日も早く収束することを願いながら、職員一同、笑顔を合言葉に令和三年度も頑張ってください。

東遠学園長 杉原充子



児童部・青年部合同ミニ運動会開催！

ゴールデンウィーク中の五月四日(火・祝)に、グラウンドで児童部・青年部合同ミニ運動会が開催されました。開会式後の体操では「USA」の曲に合わせて踊ったり、マイクを向けると得意気に歌ったりする利用者もいました。児童部は、五十メートル走とパン(おやつ)食い競争を行いました。ミニこいのぼりと共にゴール前につり下げたおやつをめがけて子どもたちが全力でGO!!。中には勢い余ってステーン!と転びながらもお菓子をゲットする子もいました。綱引きや玉入れ、リレーは、児童部、青年部が合同で行いました。リレーでは利用者がバトンをつなぐ中、楽しくて思わず一緒に走り出し伴走してくれる利用者さんの姿もありました。どこまでも空高く汗ばむ陽気の中、広い学園グラウンドを利用児者にはもちろん職員も一緒になって走って、転んで、笑って、応援して、楽しんだ一日でした。

運動会が終了した後も「綱引き頑張った」等と職員に伝えて下さる利用者もおり、楽しい休日のひとコマになっていたことを嬉しく思いました。

今後も児童部・青年部の利用者が合同で楽しむことができる行事を計画し、開催していきたいと考えています。



令和三年度 新入職員紹介

【青年部】

《後藤 圭》



実習をした際に、利用者の方々が自分らしく生活をしている姿や、職員の方が親身に支援している姿があり、東遠学園を志望しました。利用者の方の幸せを常に考えながら、支援をしていきたいと思えます。

【児童部】

《依田 昂樹》



実習の際、雰囲気の良い利用者の方がのびのびと東遠学園で過ごしているのを感じ、東遠学園を志望しました。利用者第一の気持ちで軸にし、利用者の一瞬一瞬を大切に、支援をしていきたいと思えます。

【こども発達センター】

《柄澤 萌》



めばえでの実習の際に、温かい雰囲気の中で子どもたちが生き生きと楽しそうに過ごしている所に惹かれ、東遠学園を志望しました。日々子ども達が笑顔で楽しく過ごせるよう、精一杯頑張ります。

東遠がつなぐ笑顔の輪

東遠学園組合では、余暇の充実・健康維持・発達支援を目的として、様々な運動活動を日々行っています。この夏開催予定のオリンピックは、“スポーツを通じ心身の向上を図ると共に互いの理解を深め、平和でより良い世界の実現を目指す”という目的があります。



児童部の男の子達は、GW期間や休日暑さに負けずにサッカーに打ち込みました！

いいフォームでしょ！？

4日に行った合同運動会では、リレーや綱引きを行いました。中でも大盛り上がりしたのは、グループ対抗の玉投げ！職員が背負ったカゴを目指して縦横無尽に走り回り、玉を投げ入れました。

子どもの足取りの軽やかさ、はじけるパワーに圧倒される毎日ですが、一緒に楽しみながら支援を行っていきます！



私たち東遠学園組合も、楽しい活動を通して利用者の皆さんや子ども達が日々元気に過ごし、笑顔あふれる充実した生活を送れるよう支援を行っていきたく思います。

児童部

生活

児童発達支援センター

みなみめげえ

【散歩🌻】

お天気の良い日には、近くの広場や神社等にお散歩に行きます。お花が咲いていたり、魚や虫を見つけたりと季節を感じながら、お散歩を楽しんでいます。



めげえ

【園庭あそび🏡】



ポカポカ暖かい気候を感じながら元気に楽しく遊んでいます。遊具では様々な身体使い、砂場遊びではやりとりの経験等遊びの中での成長を支援していきます。

きためげえ

【リズムあそび🎵】

ピアノ音に合わせて止まったり走ったりします。音をよ〜く聞いて体を動かすこと、大人や友達を模倣して、楽しく体を動かしています。



「ピッ」足を上げてトンボのポーズ！かっこいいね。

GWも過ぎ、新緑の季節がやってきました。運動するには気持ちの良い季節です！生活介護に通う利用者さんも、日ごろの運動不足解消のため午後日課の中で散歩やトランポリンを行っています。散歩は「ゆっくりコース」「アップダウンコース」等、個々に合ったコースを設定しています。新芽が伸びた茶畑をのんびりと歩くのが何とも言えない穏やかな時間となっており、良い気分転換にもなります。トランポリンは言葉で表現する事が苦手な利用者さんも、トランポリンの揺れを体で感じ笑顔がこぼれます。そんな利用者さんを見て、職員も元気をもらっています！！



介護

青年部

東遠地区生活支援
センター



青年部では休日午後、旧センターまでのグループとカネショウまでのグループに分かれて散歩に出掛けています。新緑のゆれる木々に囲まれたのどかな道を楽しみつつ、途中にある自動販売機でジュースを買い、のどを潤します。自分で選んだジュース、どれもおいしいですね！これからの季節にむけての体を動かす機会も計画していきます。いい汗かくぞ～！！

サービス



粟ヶ岳頂上付近にある、阿淡々神社・法泉寺・永江院の3箇所の御朱印めぐりをしました。住職さんとハイタッチする場面もありました。夕食は、大好きなカレーをペロリと完食！！頂上から見る景色も最高でした。

とても楽しい1日となりました。

放課後等デイサービス たんぼぼ

たんぼぼでは地域の公園へ外出する機会を設けています。これは御前崎にある八千代公園での一枚。公園では皆それぞれ遊具に挑戦したり、友達と追いかけてっこをして思いっきり身体を動かして楽しめます。友達や大人と一緒に様々な遊びを楽しみながら、心と身体を育んでいきます。



《 行事予定 》

【 7月 】

22日(木) 生活介護開所日

【 8月 】

1日(日) 同窓会

7日(土) 生活介護開所日

10日(火)～16日(月)
生活介護休業日

10日(火)～17日(火)
児童発達支援センター 夏休み

※新型コロナウイルス感染拡大防止への対応等により、予定が変更となる場合があります。
ホームページ等でご確認をお願いします。

— 苦情解決窓口より —
令和3年2月～令和3年5月

苦情解決として第三者委員にあげられたものは、ありませんでした。

《 感謝の心 》

【 寄付 】

奥宮 貴志夫 様 (現金)
フジオーゼックス株式会社 様 (現金)
富井 幸廣 様 (現金)
平川 悠太 様 (ミニトマト)
北川 智久 様 (タオル)
塚本 弥生 様
(アーティフィシャルフラワーリース)
西方茶農業協同組合 (深蒸し煎茶)

【 ボランティア 】

鈴木 瑞枝様 (お茶)
伊谷 園枝様 (お華)
栗下 静江様 (裁縫)

暖かい善意を
ありがとうございました。



～ 編集後記 ～

6月に入り、梅雨の時期を迎えました。今年は、例年より梅雨入りが早いようです。体調を崩しやすい時期となりますが、食事・睡眠・運動を心がけ、体調管理に努めましょう。さて、新型コロナウイルス感染の影響により延期となった東京オリンピック・パラリンピックも3月から聖火リレーがスタートし、開幕が近づいてきました。東遠学園においても運動などを通して施設利用者・職員の心身の向上を図るとともに、互いの理解を深めるように努めています。今後も東遠学園の元気な活動を皆さんにお伝えしていきます。

[編集委員] 沢島大助 中山明子 藤原京子 津原樹 松野汐里 羽田知花 松浦永知 塩崎沙矢香

東遠学園 児童部・青年部	〒439-0037	菊川市西方 4345-2	TEL:0537-35-2753	FAX:0537-35-2799
東遠地区生活支援センター支援担当	〒439-0037	菊川市西方 4345-2	TEL:0537-37-3995	FAX:0537-37-3996
相談窓口			TEL:0537-35-2971	
こども発達センターめばえ	〒436-0016	掛川市板沢 1941-35	TEL:0537-23-2312	FAX:0537-23-0008
みなみめばえ	〒437-1611	御前崎市新野 1877-7	TEL:0537-85-1200	FAX:0537-85-1201
きためばえ	〒439-0037	菊川市西方 4345-2	TEL:0537-25-7031	FAX:0537-37-3996